

事故情報 30年第4号

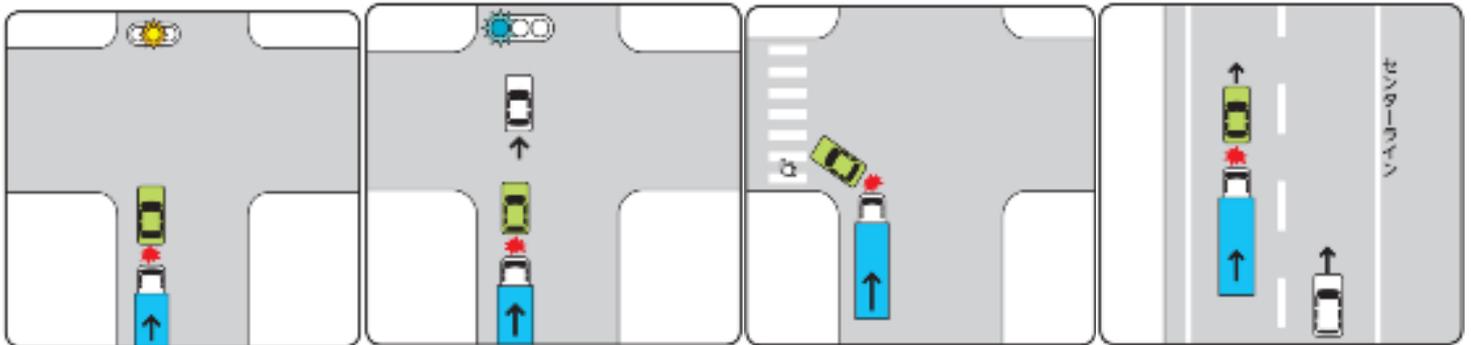
年末 追突・逆突・構内事故多発警報！

《多発事故のパターンを認識し未然防止を》



追突事故

- ①信号の変わり目に追突
- ②青信号で発進し未発進の前車に追突
- ③左折途中で停止した前車に追突
- ④車線変更時に他車に気をとられ追突



《防止策》

「前車はとまるかもしれない」と考え、徐行や停止状態をとる

《防止策》

青信号で発進する時は、必ず前車の動きを確認してから発進する

《防止策》

左折前車の減速・停止を予測して、適正な車間距離を保持する

《防止策》

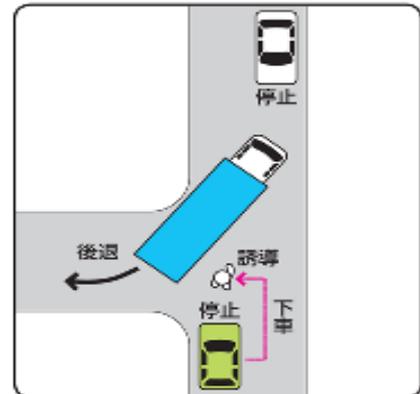
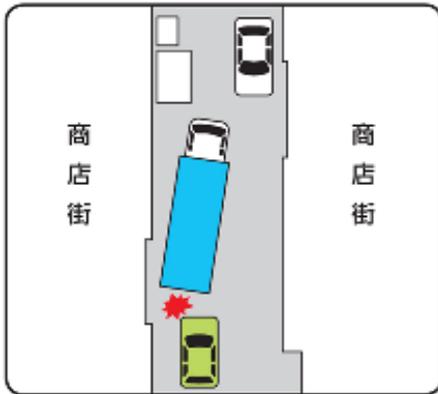
車線変更時は、注意を一点に集中しないで、常に他車の動向をチェック

九州トラック交通共済協同組合

後退時の事故（逆突事故）

《特に注意が必要な場面》

- ① 右・左折するとき、そのまま通過できず、切り返すために後退するとき
- ② 目的地を行き過ぎ、後退あるいは転回するとき
- ③ 荷積みあるいは荷下ろし終了後、後退して発進するとき
- ④ 対向車に道を譲るため後退するとき
- ⑤ 車庫入れで後退するとき



《防止策》

後退する前に、車からいったん下車して後方の安全を確認する習慣を身に付ける



《防止策》

場合によっては、相手運転者に後退することを話し、相手に下車してもらって誘導を頼む

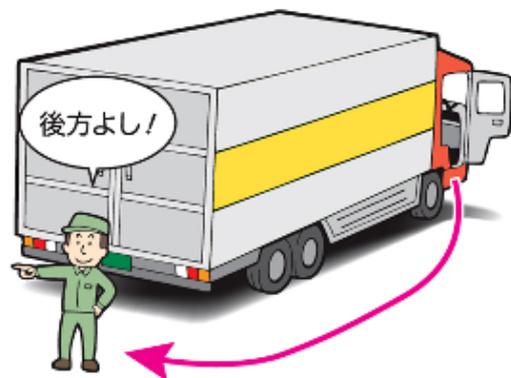
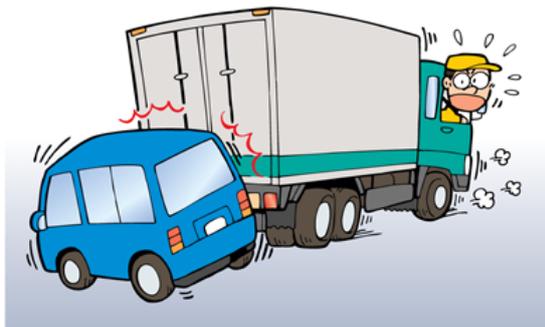
構内での事故

～トラックによる物損事故の3分の1は「構内」で発生～

被害物件で最も多いのは駐車車両

家屋・建物・構内施設・シャッター
門柱・看板・フェンス・塀・軒・庇等

バックする時は、必ず一旦下車して後方の状況を確認する



バックアイカメラのモニターやミラーに映る視界には限界があります。左右や上方の死角に障害物が隠れている危険がありますので、意識して二重三重の確認を怠らないようにしましょう。